

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	0170202055		
法人名	有限会社 ティージー・サポート		
事業所名	グループホーム 伏古公園		
所在地	札幌市東区伏古1条2丁目3番23号 (電話 011-781-2338)		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年8月29日	評価確定日	平成19年9月19日

【情報提供票より】(平成19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月13日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 17人, 非常勤 人, 常勤換算 6.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1～2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く) 暖房費7,000円

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	道光熱費25,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要 (8月 1日現在)

利用者人数	17名	男性	7名	女性	10名
要介護1	2	要介護2	8		
要介護3	4	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 80.3歳	最低	70歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みよか内科クリニック・恵佑会東病院・高台病院・さくら歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

郊外に位置した閑静な場所に建てられ、目の前には公園があり、交通量も少なく、恵まれた環境で穏やかに過ごすことのできるホームである。24時間対応の医療機関のバックアップ体制のもと、利用者が安心して暮らすことができる。また、往診受診ノートも作成されており、医師のアドバイスが詳しく記録され毎日のケアに活かしている。家族には毎月「ふれあい日誌」(介護記録)を送付し、利用者の様子をお知らせしている。運営者は、毎日のようにホームに顔を出し、管理者や職員と話し合いを持ちながら、尽きることのないケアサービスの質の向上に情熱を持って取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目「権利・義務の明示」については、契約書にわかりやすく掲げている。外部研修については、全職員が受講するまでに至っていない。職員が積極的に研修に参加できるよう今後の取り組みに期待する。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者、職員は評価の意義や活用の仕方を理解しており、職員はフロア会議で話し合いをし、さらなる質の向上に向け全職員で取り組みをしている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、現在まで4回開催されている。内容はホームの状況報告や外部評価についての意義や、前回の改善項目について報告、話し合いをしており、サービス向上に活かしている。議事録も整備されている。次回の開催日程も決まっており、順調に会議が開かれている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>「意見箱」も設置してあるが、家族が来訪した際に意見を伺ったり、利用者の様子をお知らせしたりしている。運営推進会議には家族の参加も依頼しており、意見や要望をだすことができる機会を設け、今後の運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、広報委員会が町内向けの「ホームたより」を作成回覧し、地域との交流を深める努力をしているが、活動や行事が少なく地域住民との密なる交流が図られるまでに至っていない。町内会の会議や行事に積極的に参加をし、地域とホームの絆の強化に努めるよう期待する。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所以来、法人が定める独自の運営理念を掲げて、日々のケアに活かし努力をしている。	○	ホームとして地域密着サービスの意義を確認し、地域の一員としての人間関係を築き交流を深める理念をパンフレットにも掲げ、事業の方針、目標に反映させる取り組みを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、理念が記載されているカードを携帯し、共有しながら日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は、町内会に加入し、夏祭りや花植えなどに参加し、交流を深める努力をしているが、活動行事が少なく地域住民との密なる交流が図られるまでには至っていない。	○	事業所は、町内会の集会や行事などに、積極的に参加をし、近隣住民の方々に知って頂くよう、地域とホームの絆の強化に努めるよう期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、評価の意義や活用の仕方を理解しており、前回の改善項目についても、フローア会議などで話し合いをし、具体策を検討し、実践に向けて取り組んでいる。		

札幌市 グループホーム 伏古公園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在まで4回行なわれている。次回の開催日も決まっており、順調に会議が開かれている。内容はホームの状況報告や外部評価についての報告、話し合いを行ない、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は、区の窓口に出向いて、報告や相談をしているほか、会議にも参加をし、常に連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に1度の「ホーム便り」のほか、毎月個人宛に日常の様子を記入した「ふれあい日誌」を送っている。金銭関係については、領収書を一緒に送付し報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「意見箱」も設置してあるが、家族が来訪した際に、意見を伺ったり利用者の様子をお知らせしたりしている。運営推進会議には、家族の参加も依頼しており、意見や要望を出すことができる機会を設け、今後の運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員異動の際は、全職員でフォローをし、利用者のダメージを最小限にするために、検討し対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の研修はフローア会議の時に研修ビデオを見ながら勉強会を行なっているが、外部研修は全職員が受講するまでに至っていない。	○	運営者は、職員が研修に参加する機会を設け、研修報告や資料をファイルし、全職員が閲覧できるよう配慮することが望ましい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、区の管理者会議に出席し、意見交換や勉強会を行ない質の向上に向けた連携作りに努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族にホームを見学して頂いたり、自宅や病院を訪問したりして、利用者が安心して生活が送れるよう充分話し合いを持ちながら進めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、料理や家庭菜園など、職員が利用者から教えて頂いたり、一緒に作ったりしながら利用者の気持ちを汲み取り、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望の把握に努め、その人らしい生活を過ごせるよう支援し実践している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意見や要望を取り入れ、利用者にとってより良い暮らしができるようにフロア会議で検討し、利用者本位の計画を作成し実践している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヶ月毎に見直しを行っており、ケアプランにも記録されている。状態の変化があった場合は、その都度計画の見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の意見や要望に応じ、お墓参りに付き添ったり、家族が来られない時は病院の送迎をしたりと、その時々で柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応の協力医療機関があり、訪問診療や健康診断を実施している。週1回看護師が配置されており、日常の健康管理についての相談を行ったりして、利用者が安心して暮らせるように支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応指針を作成しており、入居時に利用者や家族に説明し同意を得ているが、家族の気持ちに配慮しその時々により確認をし、繰り返し話し合いを持ち、慎重に取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレの誘導や失禁、汚れなどの対応は、一人ひとりのプライドを傷つけないような言葉掛けを行なっている。個人情報の取り扱いについても、書類の保管場所を決め、情報が漏れないように努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの声に耳を傾け、会話を大切にしている。訪問時も利用者のやりたい事を大切に支援をしている。その日の状態や希望に合わせ、できる限り日々その人らしい暮らしができるように見守りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなどは、できる範囲でお手伝いをしている。職員も一緒に食事をし、きざみ食の方もおり介助をしている。会話も自然に行なわれており、和やかな雰囲気である。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間帯は特に決めておらず、可能な限り利用者の希望に応じて支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家庭菜園、調理の下準備、ビデオ鑑賞、歌、午後の体操など、利用者が得意とすることを、さりげなく見守り支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム前が公園で毎日のように散歩に出掛けている。また、ドライブに行ったり、買物に出掛けたり、系列のホーム合同のバーベキュー、外食行事など気分転換ができるように支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを置くなど、日中は鍵をかけないケアを実践している。		

札幌市 グループホーム 伏古公園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署職員立会いのもと、利用者、全職員が参加をして、避難訓練を実施している。災害に関しても、地域に協力して頂けるよう、推進会議で働き掛けを行なっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量や食事量は記録しており、訪問医師にも相談をしたりして、一人ひとりに必要な食事や水分が摂れるように支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく穏やかな採光である。ソファや畳を敷いている場所もあり、玄関フードにはベンチが置いてあり居心地よく過ごせるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、使い慣れた家具や趣味のものが持ち込まれており、その人らしい居室となっていて、利用者が安心して暮らせる配慮がされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。